

2018年5月31日～6月4日

JNN 世論調査、国民投票法、憲法、新潟知事選、沖縄

JNN 18年6月3日

JNN世論調査、内閣支持率39.0% 最低を更新

JNN世論調査で、安倍内閣の支持率が第2次安倍政権が発足して以来、最も低い39.0%になりました。

安倍内閣を支持できるという人は、先月の調査結果より1.6ポイント減って、39.0%でした。去年8月の39.7%を下回り、第2次安倍政権が発足して以来、最も低い数字となりました。

一方、支持できないという人は1.4ポイント増えて、59.1%でした。不支持が支持を上回るのは3か月連続です。

加計学園の獣医学部新設をめぐる愛媛県の作成した文書に3年前、安倍総理と加計理事長が面談したとする内容が含まれていましたが、安倍総理はこの面談を否定。加計学園も「実際にはなかった」と説明しました。

安倍総理や加計学園の説明に納得できるか聞いたところ、76%が「納得できない」と答え、「納得できる」は13%にとどまりました。また、この問題で、加計理事長を「国会に呼ぶべき」と考える人は63%に上りました。

森友学園との土地取引を巡る財務省の決裁文書改ざんや交渉記録の廃棄、前事務次官のセクハラ問題などを受け、麻生財務大臣が辞任すべきかどうか聞いたところ、「辞任すべき」が54%で、「辞任する必要はない」の34%を上まわりました。

一方、先週、大阪地検特捜部が不起訴とした佐川前国税庁長官について、「改めて証人喚問すべきだと思う」人は51%でした。

日本大学のアメリカンフットボール部の選手による悪質なタックル問題で、タックルした選手は監督からの指示があったと話しましたが、内田前監督らは指示を否定しました。どちらの主張を信じるか聞いたところが、「選手の主張」と答えた人が93%に上りました。

JNN 18年6月3日

JNN 世論調査詳報

6月2～3日調査 電話RDD方式、有効回答1200、最大想定誤差±2.8% (前回調査5月12～13日)

安倍内閣を支持するか

非常に支持できる 5.7% ▽1.6 ㊦

ある程度支持できる 33.3 ▽1.0

あまり支持できない 34.3 ▽2.0

まったく支持できない 24.8 +3.4

NA、わからない 2.1 +0.4

支持理由

安倍総理に期待できる 19.5 ▽4.5

閣僚の顔ぶれがいい 3.6 +2.0

政策に期待できる 15.6 ▽2.7

自民党を中心とした内閣 32.3 +2.9

特に理由はない 26.8 +2.8

NA、わからない 2.1 ▽0.6

不支持理由

安倍総理に期待できない 42.1 +8.3

閣僚の顔ぶれがよくない 11.6 ▽5.3

政策の期待できない 15.8 ▽2.8

自民党を中心とした内閣 19.2 ▽0.7

特に理由はない 8.6 +1.4

NA、わからない 2.7 ▽0.9

どの政党を支持するか

自民党 30.8 +0.4

立憲民主党 10.7 +2.4

共産党 4.0 +1.5

公明党 3.2 ▽0.5

維新の会 2.2 +0.4

社民党 0.6 +0.3

国民民主 0.5 ▽0.3

自由党 0.3 +0.2

希望 0.2 ▽0.1

他 0.9

支持政党なし 44.4 ▽4.7

加計学園問題について—安倍首相や加計学園側の説明に納得できる 13

できない 76

NA、わからない 11

加計理事長の国会招致

呼ぶべき 63

呼ぶ必要はない 27

NA、わからない 10

佐川氏を改めて喚問することが必要だと

思う 51

思わない 40

NA、わからない 9

麻生財務相について

辞任すべき 54

辞任の必要はない 34

NA、わからない 11

働き方法案を今国会で成立させる方針に

賛成 27

反対 47

NA、わからない 25

カジノ整備法案を今国会で成立させる方針に

賛成 23

反対 59

NA、わからない 17

北朝鮮の動向について

非常に不安 41 +2

多少不安 43 ▽2

あまり不安を感じない 12 ±0

全く不安を感じない 2 ±0

NA、わからない 2 ±0

日朝首脳会談について

できるだけ早く 30 ±0

慎重に 61 ▽2

行うべきでない 7 +3

NA、わからない 3 ±0

自民党総裁にふさわしいのは

安倍晋三 23 ±0

石破茂 35 +1

岸田文雄 5 ▽3

河野太郎 7 +2

野田聖子 9 +2

その他 7 +2

NA、わからない 15 +1

国民投票法、野党は7日採決に反対=与党提案の共通投票所設置

立憲民主党など野党5党と衆院会派「無所属の会」は1日の国対委員長会談で、国民投票法改正案を衆院憲法審査会で7日に採決することは審議不十分で認められないとの認識で一致した。

自民、公明両党は、駅や大型商業施設での共通投票所設置を盛り込む国民投票法改正案について、6日に与野党で共同提出し、7日に採決することを提案している。(時事通信 2018/06/01-16:28)

国民投票法、共同提出に反対 立民一転、与党主導を警戒 共同通信 2018/6/1 19:42

立憲民主党の辻元清美国対委員長は1日、自民党の森山裕国対委員長と会談し、憲法改正手続きを定めた国民投票法改正案を巡り、与党と大筋合意していた6日の共同提出に一転して反対する意向を伝えた。20日が会期末の今国会の会期延長が取り沙汰される中、与党ペースで改憲論議が進みかねないと警戒した。

自民、立民などは5月31日の衆院憲法審査会の幹事懇談会で、6日の共同提出で大筋一致していた。ただ自民側は7日に審議入りし、即日採決を提案。立民などは、この日程には反対していた。

野党6党派の国対委員長は1日、国会内で会談し、7日の審議入りに反対する方針で一致した。

立民「来週の国会提出認めず」 国民投票法改正案で 共同通信 2018/6/1 13:33

立憲民主党の辻元清美国対委員長は1日、憲法改正手続きを定めた国民投票法の改正案に関し「来週の国会提出は認められない」と記者団に語った。自民、立民などは6日に衆院に共同提出する方針で大筋合意していた。

これに先立ち、立民、国民民主など野党6党派の国対委員長は国会内で会談し、改正案の早期の審議入りを容認できないとの認識で一致した。与党は7日の衆院憲法審査会での審議入りと、即日採決を提案している。

辻元氏は、与党の描く日程は拙速だと批判。「7日の趣旨説明、採決など認められない。丁寧な手続きと十分な審議時間が必要だ」とも述べた。

国民投票法改正案 「時間かけて」 野党6党派、審議入り反対で一致

毎日新聞 2018年6月2日 東京朝刊

立憲民主党など野党6党派の国対委員長は1日、国会内で会談し、憲法改正手続きに関する国民投票法改正案の早期の審議入りに反対する方針で一致した。立憲の辻元清美国対委員長は「法案を来週にも国会に出すのは認められない。各党で賛否が違ふ。参考人を呼ぶなど十分に時間をかけるべきだ」と記者団に語った。

自民、公明両党と立憲などは5月31日、衆院憲法審査会の幹事懇談会で、改正案を6日にも共同提出することで大筋合意した。しかし、辻元氏は1日、自民党の森山裕国対委員長に、共同提出に応じない考えを伝えた。与党が7日に衆院憲法審で即日採決しようとしていることを警戒したとみられる。【立野将弘】

野党6党派、国民投票法改正案の7日審議入り認めず

日経新聞 2018/6/1 18:04

立憲民主党など野党6党派の国会対策委員長は1日、国会内で会談し、憲法改正手続きを定める国民投票法改正案の拙速な審議入りは認められないとの認識で一致した。与党は今国会中の成立を目指し、6日の改正案提出、7日の衆院憲法審査会で審議入りと採決を野党に提案している。

立憲民主党の辻元清美国対委員長は会談後、記者団に「丁寧に議論できるような環境ではない」と批判した。

産経新聞 2018.6.1 14:58 更新

【憲法改正】野党6党派、来週中の国民投票法改正案提出認めず

立憲民主、国民民主など野党6党派の国対委員長は1日、国会内で会談し、憲法改正手続きを定めた国民投票法改正案について、来週中の国会提出は認められないとの認識で一致した。

自民党や立憲民主党などは5月31日の衆院憲法審査会幹事懇談会で、改正案を6月6日に国会に共同提出する方向で大筋合意していた。

与党は7日に衆院憲法審査会を開いて審議入りし、即日採決することを提案しているが、立憲民主の辻元清美国対委員長は「丁寧な手続きと十分な審議時間が必要だ」と記者団に強調した。

国民投票法改正案を衆院に提出へ 自民、立民など大筋合意

共同通信 2018/5/31 17:34

自民党や立憲民主党などは31日の衆院憲法審査会幹事懇談会で、憲法改正手続きを定めた国民投票法の改正案を来月6日に衆院に共同提出する方針で大筋合意した。投票に関する規定を現行の公選法にそえる内容。共産、社民両党は共同提出に加わらないが、今国会で成立する公算が大きい。

改正案は、駅や商業施設でも投票できる「共通投票所」の設置など7項目。

与党側は改憲の賛否を訴えるCMの規制や、投票率が一定以上でなければ不成立となる「最低投票率制度」の導入など、野党が検討を求めている事項も議論に応じる姿勢を示したため、立民なども国民投票法の改正案の提出に応じる方向となった。

国民投票法改正案 提出へ与野党歩み寄り 会期延長にらみ

毎日新聞 2018年5月31日 22時52分(最終更新 5月31日 22時52分)

自民、公明両党と立憲民主党などは31日の衆院憲法審査会の幹事懇談会で、憲法改正の手続きを定める国民投票法改正案について合意した。与党案に沿って現行の公職選挙法とのずれを解消する内容で、6月6日にも共同提出する。野党側は早期の提出に慎重だったが、与党側が野党の求めるテレビCM規制なども今後検討することに同意したため、歩み寄った。【田中裕之、立野将弘】

改正案は、駅や商業施設への共通投票所設置、遠洋航海中の洋上投票の対象者拡大など7項目。自民、公明、立憲民主、国民民主、衆院会派「無所属の会」、日本維新の会、自由、希望の計8党・会派による共同提出を調整する。共産、社民両党は反対している。

幹事懇では、与野党が国民投票法改正に関する申し合わせの文案を作った。改憲の賛否を呼びかけるテレビCM規制のあり方や最低投票率の導入などについて「提案を受け次第、直ちに、真摯(しんし)に検討する」ほか、憲法審で「議論に供し、結論を得る」と明記した。

自民党は国民投票法について公選法と整合させる最小限の改正にとどめ、早急に改憲内容の議論に入りたい考えだ。ただ、立憲など野党は安倍政権のもとでの改憲論議には慎重姿勢を崩していない。野党は秋の臨時国会でテレビCM規制などを協議したい考えで、改憲論議がさらに先送りさ

れる可能性もある。

また与党は7日に憲法審を開いて改正案を即日採決する日程を提案したが、野党は難色を示した。このため5日の幹事懇で日程を再協議し、申し合わせの文案も正式に決める。

野党は国会会期の延長に反対の立場を取る一方で、延長になれば、森友・加計学園問題などで政権追及を続けることも可能になる。立憲の山花郁夫・野党筆頭幹事は改正案について「会期延長があればできる」と記者団に語り、6月20日の会期内成立は困難との見通しを表明。一方、会期延長を見込む自民党幹部は、今国会での成立を期す構えだ。

自公、立民など共同提案へ 国民投票法改正案

日経新聞 2018/5/31 18:15

自民、公明、立憲民主の各党などは31日の衆院憲法審査会の幹事懇談会で、憲法改正の手続きを定める国民投票法改正案を今国会で共同提案することで一致した。共通投票所の設置など公職選挙法との整合性を取る内容。与党は今国会の成立をめざして6月6日の共同提案を呼びかけており、5日の幹事懇談会で野党と議論する。

産経新聞 2018.5.31 18:01 更新

国民投票法改正案 6日に共同提出へ 7項目を先行改正



自民党本部で開かれた憲法改正推進本部と選挙制度調査会の合同部会＝18日午前、東京・永田町

与野党は31日の衆院憲法審査会の幹事懇談会で、憲法改正の手続きを定めた国民投票法改正案を6月6日に国会に提出し、今国会中に成立させることで合意した。社民、共産を除く各党で共同提出する。

改正は、平成28年の公職選挙法の改正で認められた洋上投票の拡大など7項目を国民投票法に反映させる内容。

自民、公明両党は、郵便投票の対象者の拡大も加えた計8項目を改正する考えだった。ただ、その場合は、公選法の改正も必要となるため、野党側は党内調整の時間が必要だとして難色を示した。このため、与野党は7項目を先に改正することで折り合った。

自民、公明両党は、7日に審査会を開いて国民投票法改正案を採決したい考えだ。

安倍首相「9条改正を」＝自民県連大会で強調



自民党滋賀県連の定例大会で演説する安倍晋三首相＝2日午前、大津市内のホテル

安倍晋三首相は2日午前、大津市のホテルで開かれた自民党滋賀県連大会に出席した。首相は講演で、憲法改正について「立党以来の悲願である憲法改正に取り組むときだ」と改めて強調。「しっかりと憲法9条に日本の独立と平和を守る自衛隊を明記して、違憲論争に終止符を打とうではないか」と訴えた。

財務省の公文書改ざん問題などに関しては「国民の行政に対する信頼を揺るがす事態となっており、深くおわび申し上げます」と陳謝。その上で「二度とこうしたことが起こらないよう、全力を挙げて再発防止に向け、首相としてその責任を果たす」と語った。(時事通信 2018/06/02-13:00)

産経新聞 2018.6.2 21:02 更新

【自民党総裁選】安倍晋三首相、異例の県連大会出席 石破茂氏支持広がる滋賀にくさび 統一選へ非自民系知事と連携も

安倍晋三首相（自民党総裁）は2日、大津市内で開かれた党滋賀県連大会に出席し、憲法9条への自衛隊明記を含む改憲の実現に協力を呼びかけた。公務で多忙な首相が国会開会中に県連大会に出向くのは異例。首相は3選を目指す9月の党総裁選はもちろん、来年の統一地方選や参院選に向けた準備も加速させている。

「憲法に自衛隊を明記して、違憲論争に終止符を打とうではありませんか」。琵琶湖岸のホテルで開かれた県連大会の講演で憲法改正への思いを熱く語った首相は、ご当地ネタもふんだんに織り交ぜた。

赤いネクタイを着用した首相は『井伊の赤備え』にあやかると述べ、彦根藩主を務めた井伊家の朱色の甲冑（かっちゅう）を意識したと説明。観光振興に関し「彦根城も人気ですよ」と語ると、隠し持っていたゆるキャラ「ひこにゃん」のマスコットを掲げ、拍手を浴びた。

首相の地方の党会合への出席は「通常のことではない」（滋賀県連所属の有村治子参院議員）。背景にあるのは総裁選でライバルとなる石破茂元幹事長だ。

平成24年の総裁選で滋賀県の党員投票は石破氏が首相

の約1.8倍だった。石破氏は「今年既に3回も滋賀に来た」（県連関係者）という。県議の新年会に顔を出すほどで、「呼べば来てくれる政治家」として人気を広げる。首相の「湖国」入りは石破氏の支持層にくさびを打つ狙いがあったのは間違いない。

首相には別の意図もあったとみられる。党滋賀県連大会には旧民主党衆院議員だった三日月大造知事も出席した。控室で首相と懇談し、大会後は大津市内の児童養護施設とともに視察。首相は7日告示の知事選（24日投開票）で再選を期す三日月氏を直接「ご健闘を祈ります」と激励した。

三日月氏は前回の知事選で自民党と対決したが、就任後は円満な関係にあり、同党は今回、支援を決めた。非自民党系出身ながら自民党と関係が良好な知事は他にもいる。首相は統一地方選などに向け地方レベルでの布石作りにも余念がないようだ。(原川貴郎、宮野佳幸)

産経新聞 2018.6.2 13:18 更新

「9条改正案、必ずまとめる」 安倍晋三首相、自衛隊明記に意欲

安倍晋三首相（自民党総裁）は2日午前、大津市内で開かれた自民党滋賀県連大会であいさつし、「立党以来の悲願である憲法改正に取り組むときがやってきた。9条の改正についても改正案を必ずとりまとめる」と述べ、自衛隊の明記を含む憲法改正の実現に改めて強い意欲を示した。

首相は、多くの教科書が自衛隊の存在をめぐる違憲論を掲載している現状に触れ「彼ら（自衛官）の子供たちもこの教科書で勉強しなければならない。このままでいいのか」と訴えた。

その上で「しっかりと9条に、日本の独立と平和を守る自衛隊を明記し、違憲論争に終止符を打とう。これこそが、今を生きる政治家の、自民党員の使命だ」と呼びかけた。

また首相は、学校法人「森友学園」（大阪市）との国有地取引をめぐる財務省の決裁文書改竄（かいざん）問題などを念頭に「国民の行政に対する信頼を揺るがす事態となっており、深くおわびを申し上げます」と改めて陳謝し、「真摯（しんし）に反省し、二度とこうしたことが起こらないように全力を挙げて再発防止に向け、内閣総理大臣として責任を果たしていく覚悟だ」と述べた。

産経新聞 2018.6.2 15:23 更新

改憲対応で立憲民主を批判 細田氏「審議入りに抵抗」



「清和政策研究会との懇親の集い」であいさ

つする細田博之氏＝5月22日午後、東京都港区（松本健吾撮影）

自民党の細田博之の憲法改正推進本部長は2日の党島根県連大会で講演し、改憲論議に前向きな姿勢を示さない立憲民主党などの姿勢を批判した。「審議に入ることに抵抗している。憲法の議論をせずに、何が『立憲まるまる党』なのかよく分からない」と強調した。

憲法9条に自衛隊を明記する自民党の改憲条文案にも言及し「野党は『戦争に巻き込まれる』『徴兵制が始まる』などとばかなことを言っているが、そんなことはない」と理解を求めた。

立憲・山尾氏の改憲論「9条の神髄守るために、変える」朝日新聞デジタル聞き手・石松恒 2018年6月4日04時20分



インタビューに応じる立

憲民主党の山尾志桜里衆院議員＝5月29日、国会、石松恒撮影

安倍晋三首相の改憲論に反対の立場を取りながら、「立憲的改憲論」を唱える立憲民主党の山尾志桜里・党憲法調査会事務局長にその狙いを聞いた。

—きっかけは何だったのでしょうか。

「二つのタイミングがある。一つは安保法制が通った2015年。薄々感じていたけれど、安倍政権というのは先人からの蓄積とか憲法の解釈とか書いていないものは一切無視して、解釈を悪用したり、憲法の『余白』を逆手に取ったりする政権だと実感した」

—と、言うとは？

「一言で言えば、9条の役割は少なくとも自衛権を個別的自衛権にピン留めすること。その役割を果たすことができなかった。つまり、9条は安保法制を止めることができなかった」

—安倍内閣の一存で9条の政府解釈を変え、集団的自衛権の行使を認めたことですね。

「そうであるならば、解釈を尊重しない政権に対抗するために、国民の意思で最低限守らせるルールを憲法に明記する時代に入った、ということです」

—もう一つのタイミングとは？

「統治の文脈で、安倍政権のも…

水面下で動く「立憲的改憲論」 あえて改正、権力を制約

朝日新聞デジタル石松恒 2018年6月4日04時20分

「立憲的改憲論」の主な内容と発言

- 9条2項(戦力の不保持、交戦権の否認)の改正
個別的自衛権に限定することを明記し、その範囲で戦力を認める
- 憲法違反をたたく憲法裁判所の新設
- 首相の衆院解散権の制約
- 同性婚をする権利の保障
- 臨時国会の召集要求に応じる期限を明記 など
(山尾志桜里衆院議員の提案)

立憲的改憲論への主な批判

- 改憲の「土俵」に乗ることで改憲派に利用される
- 新たな案文が拡大解釈されるリスクがある

枝野幸男・立憲民主党代表
「憲法論として立憲的改憲は正しいが、それを実現するための政治論とは分けないといけない。ほや憲法論は、山尾さんが言うことと私の言うことは一緒だ。私は立憲的改憲論(の立場)だ」
(5月3日の討論会)

玉木雄一郎・国民民主党共同代表
「野党各党それぞれの立場に多少の違いはあっても、権力を縛る観点からの改憲論は共通点が見いだせると思う」
(4月28日、記者団に)

「立憲的改憲論」の主な

内容と野党幹部の発言

安倍晋三首相の改憲提案が相次ぐ政権不祥事で一時の勢いを失い、国会の憲法論議は停滞している。ところが、野党内で静かに動くもう一つの「改憲論」がある。あえて憲法を改正することで、権力をより厳しく縛ろうとする「立憲的改憲論」だ。実現する可能性はあるのだろうか。

「私は立憲的改憲論(の立場)であり、我々は護憲(政党)ではない」。立憲民主党の枝野幸男代表は5月3日の憲法記念日に東京都内であったイベントで、みずからや党の立ち位置を説明した。

立憲は「憲法に関する当面の考え方」と題した文書で、「憲法を一切改定しない立場は採らない。立憲主義に基づき権力を制約し、国民の権利の拡大に寄与するとの観点から、憲法に限らず、関連法も含め、積極的に議論、検討する」とうたう。ただ、「立憲的改憲論」という言葉を明記しているわけではない。

「立憲的改憲論」とは何か。

衆参両院の憲法審査会で打ち出す党の方針を議論する党憲法調査会の活動と別に、立憲的改憲論の議論、検討を任されている山尾志桜里・党憲法調査会事務局長は「憲法解釈を尊重しない政権に対抗するため、国民の意思で最低限守らせるべきルールを憲法に明記する考えのことだ」と言う。

たとえば、自衛権の範囲を自国が直接、武力攻撃された場合にのみ反撃する「個別的自衛権」に限定するために憲法9条を改正する。憲法に首相の衆院解散権へのしほりを設けたり、臨時国会の召集要求に期限を設定したり、同性婚の権利やプライバシー権を明記する。憲法違反をただす憲法裁判所を置く。そんなことを検討しているという。

枝野氏らが立憲的改憲論に踏み出した大きなきっかけは、2015年の安全保障法制の成立だった。

歴代の政権は、9条で認められる自衛権の範囲を「個別的自衛権」に限定してきたが、安倍政権はこの法制で、同盟国が攻撃された場合に共同して防衛に当たる「集団的自衛権」も一部行使できると政府解釈を拡大した。拡大解釈で実質的に改憲されるぐらいなら、逆に改憲で歯止めを明確にすべきだと考えた。

山尾氏は「これまでの護憲派が…

「九条守れ」俳句掲載拒否で賠償命令、市が上告

読売新聞 2018年06月01日 09時14分

集団的自衛権の行使容認に反対するデモ活動を詠んだ俳句を公民館だよりに掲載しなかったのは表現の自由の侵害だとして、さいたま市大宮区の女性（77）が市に損害賠償などを求めた訴訟で、市は31日、市に5000円の支払いを命じた2審・東京高裁の判決を不服とし、最高裁に上告した。

原告の女性も同日、上告した。

女性は2014年6月、同区の公民館で開かれた会で、「梅雨空に『九条守れ』の女性デモ」と詠み、「秀句」に選ばれたが、公民館は「世論を二分するテーマ」などとして公民館だよりへの掲載を拒否。東京高裁は、「女性の人格的利益を侵害した」とし、慰謝料5000円の支払いを命じた。

産経新聞 2018.6.2 10:00 更新

【明治150年】第3部 法律(1)日本の「国のかたち」 反映 大日本帝国憲法は「最大の遺産」



大日本帝国憲法の御署名原本（国立公文書館蔵）

名原本（国立公文書館蔵）

本来なら今頃、衆参両院の憲法審査会を舞台に活発な憲法改正議論が行われていたはずだった。昨年の衆院選の大勝を背景に、「国民の手に憲法を取り戻す」と訴えていた安倍晋三首相の悲願は前進するかに見えた。しかし、審査会は閉会が近づく今国会で一度も実質的な審議をしていない。

明治22（1889）年2月11日発布の大日本帝国憲法（明治憲法）は形式上、天皇が首相に授けた欽定（きんてい）憲法だった。明治憲法を改正した昭和21年公布の日本国憲法は連合軍総司令部（GHQ）占領下の帝国議会（国会）で可決した。

日本国憲法は国民投票による改正手続きを規定している

が、国民投票法の成立は平成19年で、実行されたことがない。「取り戻す」というよりも、主権者である国民が直接関与した憲法制定は今まで一度もない。

憲法改正を党是とする自民党は3月に第9条など4項目の改憲案をまとめた。審議が停滞したのは、立憲民主党などの野党が「安倍政権下での憲法改悪に反対」と訴えているからだ。安倍首相が目指す2020年の新憲法施行は霧の中に紛れ込み、出口が見えていない。

□

明治時代は違った。「明治憲法は明治の最大の遺産だった」と評したのは作家の司馬遼太郎だ。

明治憲法は現行憲法との比較で負のイメージでとらえられることが多い。教科書には現在も「天皇主権を打ち出したこと、人権保障の規定が不十分であったことなど、前近代的な性格が残されており」（数研出版高校公民用『政治・経済』）との否定的な記述が多い。

制定当時、そのような声はなかった。政府に批判的な雑誌や新聞は「聞きしに優（まさ）る良憲法」とし、政府と対立した自由民権運動家の植木枝盛さえ「吾（われ）これを祝す」と歓迎した。

現代でも、護憲派の代表格といえる弁護士の伊藤真氏さえ明治憲法の人権保障の不十分さなどを指摘しつつ、「立憲主義の発想をしっかりと取り込んではいました」（KADOKAWA『日本一やさしい「憲法」の授業』）としている。

明治憲法に続き国会が開設され、行政組織や近代的な法体系が整った。明治憲法には現行憲法に通じる三権分立や、言論、宗教の自由などの人権保障の規定も一定程度盛り込まれた。画期的な出来事だった。

□

明治政府は幕末に欧米と締結した不平等条約を改正し、近代国家を歩もうとした。しかし、憲法や議会を持たない日本は「半文明国」とされ、相手にされなかった。明治4年から2年近く欧米を歴訪した「岩倉使節団」は圧倒的な差を目の当たりにする。欧米では憲法に基づく「立憲政治」が常識だった。

アジアでは1876年にオスマン・トルコ帝国が憲法を制定したが、1年で廃止した。「欧米以外で立憲政治は無理」とみられた。それでも明治政府は憲法制定を決断。その調査の特命を受けたのが、後に初代首相となる伊藤博文だった。

岩倉使節団に加わっていた伊藤は明治15年、再び欧州に渡り、オーストリアで面会した法学者、シュタインの言葉に衝撃を受けた。

「本国の事実を知らずしてこれを他国に求めんとするのは、その研究の基礎を欠くものなり」

「憲法は法文ではなく、その国の精神である」という歴史法学の理念だった。憲法の英語表記はConstitutionで、もともとは構成、構造などを意味する。現在

は「憲法典」の印象が強いが、「国のかたち」と訳すとイメージしやすい。伊藤は欧米の模倣だけではなく、日本の「国のかたち」を反映した憲法をつくることを決意した。

しんぶん赤旗 2018年6月3日(日)

安倍9条改憲NO！3000万人署名 宗教者は沈黙しない

東京「平和を守ろう」街頭宣伝
カトリックのシスターらキリスト者をはじめ
仏教、神教者



(写真) 署名を呼びかけるカトリックのシスター(左)と署名する男性=2日、東京都新宿区

などが2日、安倍政権による憲法9条改憲に反対する「3000万人署名」の呼びかけをJR新宿駅前(東京都)で行いました。「日本カトリック正義と平和協議会」など4団体が共催する2回目のとりくみです。

汗ばむ陽気の中、参加者は額の汗を光らせながら「平和を守る署名です」と通行人に訴えました。ベビーカーを押す若い男性や、高齢の夫妻がそろって署名する姿がありました。署名した男性(17)は「9条が変えられようとしているなんて知らなかった。憲法はこのままでいい」と話しました。

呼びかけ人の一人で、ベリス・メルセス宣教修道女会のシスター、清水靖子さん(81)は「日本と世界の平和に貢献してきた9条は変えさせない。国家を私物化する安倍首相のもとでの改憲は命をかけてでも阻止したい。私たちシスターも黙っていることはできない」と力を込めました。

「平和といのち・イグナチオ9条の会」のメンバー津村順一さん(52)は、「軍人だった父から終戦を知らずにフィリピンのジャングルでたたかっていたと聞いて育った。戦争は起こしてはいけない」と話しました。

しんぶん赤旗 2018年6月2日(土)

3000万人署名を達成し、安倍9条改憲に終止符を 九条の会声明

九条の会は1日、声明「3000万人署名を達成し、安倍9条改憲に終止符を」を発表しました。

声明は、森友問題での公文書改ざん、加計学園の獣医学部新設への政権の関与、自衛隊の「日報」隠し、不誠実な

国会答弁などをあげて、国民の安倍政権への不信が強まっているとし、「こんな安倍政権に改憲を語る資格はない、という声が増大している」と指摘しています。声明は、政権への怒りと不信の高まりにあわせて、署名への賛同者が1350万人を突破し急速に増え、安倍首相がもくろんだ「改憲強行のスケジュールは大幅な後退を余儀なくされている」と述べています。

声明は、北朝鮮をめぐる南北、米朝の対話の動きに触れて、「力づくではなく話し合いにより平和を実現する道が模索されています。これこそ、9条がめざす道です」と述べ、安倍9条改憲を「武力による『解決』を加速する方向」と批判しています。

さらに、声明は安倍政権が改憲をあきらめていないとして、「秋の臨時国会での改憲原案の提出を狙っている」と指摘。「安倍政権を退陣に追い込んでこそ、改憲の策動は止まります」と強調し、なんとしても3000万人署名を達成しようと呼びかけています。

新潟知事選、野党党首そろい踏み＝残り1週間が勝負

10日投開票の新潟県知事選で、新人の池田千賀子氏を「統一候補」として支援する立憲民主党など野党5党の党首が2日午前、JR新潟駅前で街頭演説会を開いた。立憲の枝野幸男代表は「大変な激戦だ。本当にここからの1週間間で勝負が決まる」と支持を呼び掛けた。

国民民主党の大塚耕平共同代表は「事実を隠蔽(いんぺい)し、改ざんし、権力を乱用する。こんな政治は許せない。知事選の勝敗が安倍政権の命運を決める」と訴えた。

共産党の志位和夫委員長、自由党の小沢一郎代表、社民党の又市征治党首が参加。衆院会派「無所属の会」の岡田克也代表もマイクを握った。

同知事選は5野党が推薦する池田氏と、自民、公明両党が支持する前海上保安庁次長の花角英世氏の接戦となっている。2日は自民党の丸川珠代前五輪担当相、公明党の斉藤鉄夫選対委員長も新潟入りする予定。(時事通信 2018/06/02-12:25)

新潟知事選で与野党でこ入れ＝選挙戦、残り1週間



新潟県知事選の応援で氣勢を上げる野党の党首ら=2日午前、新潟市中央区

10日投開票の新潟県知事選で、立憲民主、国民民主、共産、自由、社民の野党5党と衆院会派「無所属の会」は2日、JR新潟駅前で各党党首らがそろって街頭演説した。

自民党も丸川珠代前五輪担当相ら女性議員が新潟入り。与野党とも残り1週間となった選挙戦の終盤に向け、てこ入れに全力を挙げた。

同知事選は、野党5党が「統一候補」として推薦する前県議で新人の池田千賀子氏と、自民、公明両党が支持する前海上保安庁次長で新人の花角英世氏による事実上の一騎打ち。各種調査で両者の接戦が伝えられている。

立憲の枝野幸男代表は演説で「大変な激戦だ。ここからの1週間で勝負が決まる」と強調。官僚出身の相手候補を念頭に「東京、霞が関、勝ち組の方を向いた政治で、皆さんの暮らしは良くなるだろうか」と問いかけた。

国民の大塚耕平共同代表は「この知事選の勝敗が安倍政権の命運を決める」と主張。共産党の志位和夫委員長は「最大争点は柏崎刈羽原発の再稼働問題だ。安倍政権丸抱えの中央官僚候補に負けるわけには絶対にかない」と力説した。

自由党の小沢一郎代表、社民党の又市征治党首、「無所属の会」の岡田克也代表もマイクを握り、野党共闘をアピールした。

一方、自公両党は政党色をできるだけ薄め、幹部が前面に立つのを控える戦術だ。

この日は女性議員の丸川氏や太田房江参院議員らが県内各所で街頭に立ち、「霞が関の手の内を知っているからこそ、新潟を日本一にする力がある」と支持を呼び掛けた。公明党も幹部が団体を回り、組織票固めに力を入れた。（時事通信 2018/06/02-17:09）

与野党系両新人が横一線 花角、池田氏、新潟知事選

共同通信 2018/6/4 05:00

共同通信社は1～3日、米山隆一前知事の辞職に伴う新潟県知事選（10日投開票）について電話調査を実施、取材を加味し情勢を探った。いずれも無所属新人の前海上保安庁次長花角英世氏（60）＝自民、公明支持＝と元県議池田千賀子氏（57）＝立民、国民、共産、自由、社民推薦＝が横一線で競り合っている。

4割近くは、投票する人を「まだ決めていない」としており、情勢は変化する可能性がある。

政党支持層別に見ると、花角氏は公明党で7割近くを固めたが、自民党では5割台半ば。一部が池田氏に流れている。

池田氏は立憲民主党の6割台半ば、共産党の7割をまとめた。ただ社民党で5割にとどまる。

「支持する政党はない」とする無党派層では池田氏3割台半ば、花角氏2割。無党派層での伸びも選挙結果を左右しそうだ。

両氏とも慎重姿勢を示す東京電力柏崎刈羽原発の再稼働は「反対」「どちらかといえば反対」が計65.1%。「賛成」「どちらかといえば賛成」は計20.2%にとどまった。安倍

政権での森友、加計学園問題、財務省元幹部のセクハラ発言などについて、知事選に「影響を与える」との回答は50.1%。「影響はない」44.0%を上回った。

無所属新人の元五泉市議安中聡氏（40）は厳しい。

新潟県知事選、花角氏がやや先行 朝日新聞情勢調査

朝日新聞デジタル 2018年6月3日 22時19分

10日投開票の新潟県知事選について、朝日新聞社は2、3の両日、電話調査を実施し、取材で得た情報と合わせて情勢を探った。自民と公明が支持する前海上保安庁次長の花角英世氏（60）がやや先行し、野党5党が推薦する前県議の池田千賀子氏（57）が激しく追いつけている。元同県五泉市議の安中聡氏（40）は厳しい。

有権者の4割が投票態度を明らかにしておらず、情勢は変わる可能性がある。

投票態度を明らかにした人でみると、花角氏は告示後に自民の支持が決まったが、自民支持層の8割を固めた。主婦層など、女性の支持が厚い。年齢別では、40～50代の6割以上から支持を受けている。

池田氏は、立憲支持層の8割をまとめた。全体の半数強を占める無党派層の5割から支持を受けている。60代以上では、花角氏と支持を分け合った。

同時に行った世論調査で、東京電力柏崎刈羽原発（同県柏崎市、刈羽村）の再稼働への賛否を尋ねると、「賛成」は24%、「反対」が60%だった。賛成と答えた人の多くは花角氏を支持した。一方、反対と答えた人では、半数以上が池田氏を支持したが、花角氏も一定の支持を得ている。

調査方法

コンピューターで無作為に作成した固定電話番号に調査員が電話をかけるRDD方式で、新潟県内の有権者を対象に調査した。有権者がいる世帯と判明した番号は1939件、有効回答は1137人。回答率は59%。

選挙 新潟県知事選 野党6党派代表、街頭演説

毎日新聞 2018年6月3日 東京朝刊

野党6党派の党首・代表が2日、新潟県知事選（10日投開票）でそれぞれが推薦している元県議、池田千賀子氏（57）の支援のために新潟市に入り、そろって街頭演説を行った。共産党の志位和夫委員長は記者団に「党首全員が並んで1人の候補を応援したのは初めてだ」と強調した。

そろい踏みしたのは立憲民主、国民民主、共産、自由、社民の5党と、衆院会派「無所属の会」のトップ。演説では志位氏が「原発ゼロの新潟を作ろう」と訴えるなど4党派の代表が原発に言及した。【遠藤修平】

新潟知事選、国政にらみ対照的な選挙戦

2018/6/2 0:00 情報元日本経済新聞 電子版

新潟県知事選（10日投開票）は1日から後半戦に入り、

主要政党が推す2人の候補が対照的な選挙戦を展開している。自民、公明両党が支援する前海上保安庁次長の花角英世氏（60）は政党色を薄めた「県民党」を強調。野党統一候補の池田千賀子元県議（57）は与野党対決を前面に打ち出す。国政の動きをにらみながら、両陣営の駆け引きが激しさを増している。



花角氏は国交省などでの行政経験を生かした観光振興や交通網整備などを訴える（5月31日、長岡市）



池田陣営では「無所属の会」の岡田克也代表(右)ら野党の有力議員が相次ぎ新潟入り（5月31日、長岡市）



安中聡氏は反原発などを掲げる

「豊かな食文化や美しい自然、新潟ブランドの魅力を先頭に立って伝えていく。人を呼び込むことで新潟を元気にしていきたい」。5月31日夜、柏崎市文化会館アルフォーレで開かれた個人演説会で花角氏はこう述べ、支持を訴えた。

告示から1週間が経過する中、東京電力柏崎刈羽原子力発電所の再稼働への慎重姿勢に加え、訴えるのは国交省観光政策課長や元新潟県副知事を経験した行政手腕だ。観光政策や交通網の整備を通じ、人を呼び込むことで地域経済を活性化させると訴える。

選挙戦では自民、公明両党の支援を受けるものの、応援演説に駆けつける国会議員は一部に限られる。一方で県内

の市町村長や国土交通省の「観光カリスマ」など、地域のリーダーや経済人を応援演説に迎えるなど、「県民党」を意識した選挙戦を展開している。

これに対し、立憲民主、国民民主、共産、社民、自由の野党各党と衆院会派「無所属の会」が推薦する池田氏の陣営は各党・会派の代表級の幹部が相次ぎ新潟入りするなど、野党がスクラムを組んで同氏を支えている。与野党対決色を鮮明にし、学校法人「森友学園」への国有地売却問題や官庁の文書改ざんなど、安倍晋三政権の揺らぎを批判し、有権者の支持につなげたい思惑が垣間見える。

31日には無所属の会の岡田克也代表や国民民主党の玉木雄一郎共同代表、立憲民主党の福山哲郎幹事長らが池田氏の応援演説に駆けつけた。「地域の課題が分かる人にリーダーを託さないと、明るい未来は手に入らない」（玉木代表）「官僚は普通の人でも国会で平気で嘘を言う、書類を改ざんする。官邸を見て国民を向かない」（岡田代表）。現政権や霞ヶ関批判も交えながら、新潟県内で活動してきた池田氏を持ち上げた。

今月2日には新潟市で各党・会派のトップ6氏が顔をそろえる応援演説を予定している。野党側が「国政選挙並みの重要性を置く」（玉木代表）姿勢の表れだ。

知事選にはこのほか、元五泉市議の安中聡氏（40）も立候補し、原発反対や利権にとらわれない政治の実現などを訴えている。

産経新聞 2018.6.3 21:17 更新

【新潟県知事選ルポ】野党共闘、参院選に弾みとなるか 与党、負ければ総裁選にも影響か

10日投開票の新潟県知事選の行方と野党は神経をとがらせている。同県は大型選挙で野党共闘が定着し、今回も野党6党派が推す候補が与党候補と激しく争う。野党候補が勝てば全32の「1人区」で与野党一騎打ちが想定される来年の参院選に弾みとなるのは必至だ。逆に、与党には「恐怖のシナリオ」となるだけに総力戦を展開しつつある。（水内茂幸）

「首相官邸がこういうなら『それだ』という知事でなく、間違いは間違いだと堂々という強さを持つ知事でなければならない」

真夏のような暑さとなった3日の新潟市。立憲民主党の蓮舫副代表は街頭演説で、野党6党派が推薦する池田千賀子氏への支援を呼びかけた。

2日には、立憲民主、国民民主、共産、自由、社民の5野党と衆院会派「無所属の会」のトップがJR新潟駅前に集結した。

共産党の志位和夫委員長は「新潟は市民と野党の共闘で、すばらしい歴史を刻んできた」と野党共闘の成果をアピールした。池田陣営では、共産党県本部の出身者が遊説日程を調整するなど共産党が選挙戦を下支えしている。

志位氏の指摘通り、新潟では野党統一候補の勝利が続く。平成28年の参院選は野党統一の無所属で立候補した森裕子氏（現自由党）が自民党現職を破った。同年10月の知事選も野党系の米山隆一氏が自民党系に勝利した。昨年の衆院選も、事実上の与野党一騎打ちとなった県内6選挙区で野党系が4勝した。うち3人は共産党の推薦を受けた。

野党統一候補になれば、共産党も無党派層も取り込みやすくなるようだ。新潟では、複雑な県民感情がある東京電力柏崎刈羽原発が共通テーマにもなり、再稼働反対を訴える市民団体が野党系無所属の支持母体となった。

野党は28年の参院選で、全ての「1人区」統一候補を擁立し、11で勝利した。今回の知事選でも共闘の成果を出せば「新潟方式」が加速するのは間違いない。

一方の自民党は、敗れば、参院選の「党の顔」を選ぶ9月の総裁選に影響を及ぼしかねない。

与党系の花角英世氏の陣営は、財務省決裁文書改竄や原発再稼働など安倍晋三政権への批判を前面に出す池田陣営と差別化を図るため「県民党」を掲げ、政党色を極力薄めてきた。

告示後2度新潟入りした自民党の竹下亘総務会長は街頭に立たず、商工会議所や企業など支持団体を回った。花角氏は同党の二階俊博幹事長が運輸相だった当時の秘書官を務めた縁で、二階派議員の秘書が10人近く常駐している。党は「裏方」に徹してきた。

米山氏が女性問題で辞職しただけに、今回の知事選は与党系に有利とみられていた。しかし「接戦」という情報に花角陣営も自民党も焦りを募らせる。2日に丸川珠代前五輪相、3日は山本一太元沖縄北方担当相らを街頭演説に投入するなど政党色が強まっている。

産経新聞 2018.6.2 20:18 更新

【新潟知事選】「新潟のことは新潟で」の池田千賀子氏に東京から6党派トップ 花角英世氏には丸川珠代前五輪相ら来援



2日、新潟市中央区のJ

R新潟駅前野党党首らとともに拳を突き上げる池田千賀子氏（後列右から2人目）。右上は安中聡氏、右下は花角英世氏

米山隆一前知事の辞職に伴う新潟県知事選（10日投開票）は選挙サタデーの2日、元五泉市議の安中聡氏（40）、元海上保安庁次長で元副知事の花角英世氏（60）、元県議の池田千賀子氏（57）の3候補が支持固めに奔走した。

「新潟のことは新潟で決める」がキャッチフレーズの池田

氏には、中央から野党6党派トップがそろい踏み。政党色を薄める戦略の花角氏には自民党から丸川珠代前五輪相ら女性弁士が駆け付けた。（新潟支局 太田泰）

新潟市中央区のJR新潟駅前で行われた演説で、池田氏は「選挙の争点はなんと言っても原発の再稼働問題だ」と強調。『「原発はいらない」という声と「原発がないと生きてゆけない」という両方の声を聞き続けてきた私だからこそ、できることがある」と市民に訴えかけた。

衆院会派「無所属の会」の岡田克也代表は「（再稼働を判断するため県が進めてきた）3つの検証の結果を踏まえて正しい答えを出すのか、忖度（そんたく）してねじまげてしまうのか。それがこの知事選で決まる」と指摘。共産党の志位和夫委員長は「相手候補は『脱原発』と口では言っているが、原発推進の安倍政権丸抱えでできるわけがない。口先だけのごまかしは沢山だ」と花角氏を批判した。

立憲民主党の枝野幸男代表は「みんなの力を集め、新潟のことは新潟で決める。草の根の知事を誕生させようではないか」と呼びかけた。

一方、同区の万代シテイで行われた花角氏の演説には、丸川氏や元大阪府知事の太田房江参院議員、小野田紀美参院議員のほか、新潟市の篠田昭市長も応援に参戦。

篠田市長は「県のことを熟知し、愛情を持っている即戦力に、これからの県政を任せないでどうするのか」と市民に問いかけた。花角氏は「原発は皆さんが本当に納得しない限り動かさない」と強調した上で、医療・福祉の充実や人口減少対策、地域経済の活性化にも力を注ぐと訴えた。

安中氏は上越市、糸魚川市、妙高市などを中心に街宣活動を展開。演説では、自身が政策として掲げる利権構造からの脱却や脱原発に重点を置き、「県の発展や子供たちのことを考えれば原発は足を引っ張ることになる」と話した。

産経新聞 2018.6.2 18:51 更新

5野党1党派トップ 新潟県知事選で異例のそろい踏み 与党系も丸川珠代前五輪相らが参戦



新潟市の篠田昭市長（右

端）や自民党国会議員とともに支持を訴える花角英世氏＝いずれも2日、新潟市中央区

新潟県知事選（10日投開票）で、立憲民主党の枝野幸男代表、国民民主党の大塚耕平共同代表、共産党の志位和夫委員長、自由党の小沢一郎代表、社民党の又市征治党首

と、衆院会派「無所属の会」の岡田克也代表が2日、JR新潟駅前ですらって街頭演説し、野党系候補への支持を求めた。

野党のトップが知事選の応援で勢ぞろいするのは異例。枝野氏は「東京、霞が関、勝ち組の方を向いた政治で暮らしはよくなるだろうか」と訴え、大塚氏は「知事選の勝敗が安倍晋三政権の命運を決める」と強調した。

自民党の丸川珠代前五輪相らも同駅前などで「霞が関の手の内を知っている人だからこそ新潟の安全安心を守ることができる」と与党系候補の支援を訴えた。知事選は与党系と野党系の新人候補による事実上の一騎打ちとなっている。

しんぶん赤旗 2018年6月3日(日)

新潟知事選 6党派代表 勢ぞろい 志位委員長「原発再稼働は最大争点」 市民と野党の共闘で池田さんを新しいリーダーに

東京電力柏崎刈羽原発の再稼働の是非を最大争点に大激戦・大接戦となっている新潟県知事選(10日投票)で2日、市民と野党の共闘の池田ちかこ候補の必勝をめざし、日本共産党の志位和夫委員長、立憲民主党の枝野幸男、国民民主党の大塚耕平、無所属の会の岡田克也、自由党の小沢一郎の各代表、社民党の又市征治党首が新潟駅前で勢ぞろいし、共同街頭演説を行いました。6党首・代表の共同演説は初であり、駅前は大勢の市民が詰め寄り、熱気あふれる中、野党が池田氏必勝へ決意を固めると、盛大な声援と

拍手が何度も起こり、熱気にあふれました。(



(写真) 勢ぞろいして池田ちかこ知事候補(右) 必勝を訴える(左から) 岡田、大塚、枝野、又市、小沢、(右2人目) 志位の6党派代表=2日、新潟市のJR新潟駅前

池田候補は「原発大推進の安倍

政権の言いなりにならない。『新潟のことは新潟で決める』の声は、命と暮らしを守るだけでなく、『国のエネルギー政策をもう変えるべき』と原発立地県から発信することになる。県民が自分らしく輝く新潟県を」と訴えました。

志位委員長は「この選挙の最大争点は柏崎刈羽原発の再稼働の問題です」とズバリ。池田候補が「福島原発事故の検証結果が出るまでは再稼働は認められない」ときっぱり公約していると、「立場の違いを超え、誰が考えても道理ある当たり前の主張ではないでしょうか」と訴えました。

さらに、柏崎刈羽原発を含む全原発の再稼働を進めるという安倍政権の「エネルギー基本計画」を批判し、「このとんでもない計画にきっぱり反対し、『原発ゼロの新潟』『地産地消の再生可能エネルギーの新潟』をつくる池田さんでこそ、県民の命と安全、暮らしを守り、新潟の明るい未来をひらくことができます」と力を込めました。

志位氏は同時に、「いま国の政治はあまりにも異常だ」と述べ、自身の党首討論に触れつつ、「池田さんの勝利で安倍政権に引導を渡そう。ウソのない正直な政治を取り戻そう」と呼びかけました。

志位氏が最後に、2016年参院選、17年総選挙などで、市民と野党が力をあわせれば自民党に打ち勝てることを新潟県民は何度も示してきたと強調し、「市民と野党の共闘を広げに広げ、必ずこの激戦を勝ち抜きましょう」と熱く訴えると、盛大な拍手と歓声がわき起こりました。

枝野氏は「野党5党・1党派も県民の幅広い輪の一翼を担い最後まで頑張る」、大塚氏は「安倍首相に退陣を求めるため、池田さんにご支援を」と訴え。岡田氏は「与党支持者にも『いまの政治はおかしい』と思っている人はたくさんいる。良識の声を反映させよう」、小沢氏は「安倍政権に鉄ついで下し、より良い新潟をみなさんの力で実現を」、又市氏は「エネルギー政策の転換を訴える池田さんを押上げよう」と力を込めました。

菊田真紀子選対本部長、「市民の思いをつなぐ会」の水内基成共同代表があいさつ。森ゆうこ参院議員が池田候補必勝のコールの音頭をとりました。

しんぶん赤旗 2018年6月3日(日)

新潟知事選 官邸の言いなりにならない 池田候補の訴え

新潟知事選(6月10日投票)で、野党6党派の代表が勢ぞろいした2日午前の街頭演説での池田ちかこ知事候補の訴えを紹介します。

地方の時代と言われています。食料の問題、エネルギーの問題、地方なくして解決できますか。私たちはその力を持っています。

新潟県の住みやすさは素晴らしいんです。女性の就業率が高い新潟県、働くお母さんの目線に立って、しっかりと支援をしていきたいと思います。どんな家庭に生まれても、教育を受ける権利を保障する。新潟県で始まった新潟県版給付型奨学金を発展させ、子どもたちの学習、学ぶ権利を守っていきたいと思います。

大きな争点は、原子力発電所の再稼働の問題です。私は柏崎出身、いま課題となっている柏崎刈羽原発の立地地で生まれ育ちました。原発なんかもういらぬ、原発がなかったら生きていけない、その両方の切ない声をずっと37年間、聞き続け仕事をしてまいりました。

私だからこそ、できることがある。原発を大推進してい

る安倍政権、首相官邸の言いなりにはならない。「新潟のことは新潟で決める」。私たちの命と暮らしを守ることだけではなく、国のエネルギー政策を変えるべきではないかということ、原発立地県から発信をするということになるんです。

原発がなくても、この新潟県の地域経済が成り立っていくよう、新たな雇用、産業を生み出すための検討会議をぜひ立ち上げさせていただきたいと思います。女性がキラッと輝く、子どもたちの笑顔が輝く、県民のみなさんが自分らしく輝く、そんな新潟県をご一緒につくっていくではありませんか。



(写真) 訴える池田ちかこ新潟県知事候補＝2日、新潟市

しんぶん赤旗 2018年6月3日(日)

池田ちかこさんで「原発ゼロ」の新潟を 新潟県知事選志位委員長の訴え

新潟知事選で池田ちかこ候補の必勝をめざし、新潟駅前で行われた2日の6野党・会派の党首(代表)による共同街宣で、日本共産党の志位和夫委員長が行った訴えは次の通りです。

みなさん、こんにちは(「こんにちは」の声)。日本共産党の志位和夫でございます。

「新潟のことは新潟が決める」—37年間、草の根の声に寄り添ってきた池田さん

「新潟のことは新潟が決める」——これを合言葉にたたかっている池田ちかこさんは、柏崎市職員として、市議会議員として、



(写真) 訴える志位和夫日本共産党委員長＝2日、新潟市

県議会議員として、37年間、草の根の声に耳を傾け、心を寄せて頑張ってきた素晴らしい候補者です(歓声、拍手)。安倍政権丸抱えの中央官僚候補に負けるわけには絶対にありません(「そうだ」の声、拍手)。市民と野党の共闘を広げに広げ、草の根の力を総結集して、新潟の新しいリーダーに必ず押し上げようではありませんか。(大きな拍手)最大争点は原発再稼働問題——再稼働反対の声を池田さんにたくそう

みなさん。この選挙の最大の争点は(東京電力)柏崎刈羽原発の再稼働の問題です。(「そうだ」の声)

池田ちかこさんは、前県政の方針を引き継いで、「福島原発事故の検証結果が出るまでは再稼働は認めない」ときっぱり公約しています。これは、立場の違いをこえて、誰がどう考えても、道理ある当たり前の主張ではないでしょうか。(「その通り」の声、拍手)

県内の世論調査を見ましても、67・6%の方が再稼働に反対と答えています。この声を、どうかこぞって池田ちかこさんに託そうではありませんか。(歓声、拍手)

池田さんで「原発ゼロ、地産地消の再生エネの新潟」をつくろう

池田ちかこさんは、「原発ゼロ」をかかげ、安倍政権の「エネルギー基本計画」にきっぱり反対すると言っています。ここが大事なところだと思うんですよ。

「エネルギー基本計画」というのはどんなものか。2030年度の電源の何と20~22%を原発でまかなうというものです。いま原発の比率は2%ですから、10倍にするというのです。柏崎刈羽原発も含めてすべての原発の再稼働を進める、とんでもない「再稼働推進大計画」がこの方針であります。

これにきっぱり反対して、「原発ゼロの新潟」「地産地消の再生エネルギーの新潟」をつくろう——こう主張している池田ちかこさんを知事におしあげてこそ、県民のみなさんの命と安全、暮らしが守られ、新潟の明るい未来が開かれるのではないのでしょうか。(拍手)

「脱原発」は口先だけ——原発推進の安倍政権丸抱えの相手候補

相手候補は、「脱原発」と口では言っていますけれども、できるでしょうか。原発推進の安倍政権丸抱えで、できるわけがないじゃないですか(「その通り」の声、拍手)。柏崎刈羽原発の「再稼働を促進」と言っている自民党新潟県連に推してもらってできるわけがありません。口先だけの方には大事な県政をたくせません。

池田ちかこさんで、子どもたちに原発のない未来を引き渡そうではありませんか。(大きな拍手)

池田さん勝利で安倍政権に引導を渡し、ウソのない正直な政治を取り戻そう

みなさん。いま国の政治はとんでもない状態です。

私は、先日、党首討論で安倍首相と討論する機会があり

ました。「森友・加計疑惑で、公文書改ざん、隠ぺい、廃棄、そして虚偽答弁——なぜあなたの政権でこんなことが起きるのか」。このように聞きましたら、安倍首相から答えがありません。答えられない。

しかし、国民のみなさんは、もうみんな「なぜ」かを知っているんじゃないですか（「そうだ」の声）。安倍首相のウソを守るためですよ。首相のウソを守るために、まわりがこぞってウソをつく。こんな政治はもう終わりにしようじゃありませんか。（「その通り」の声、拍手）

みなさん、全国が注目する選挙です。池田ちかこさんを勝たせていただいて、安倍首相に引導を渡そうじゃないですか。ウソのない、正直な政治を取り戻そうではありませんか。（大きな歓声、拍手）

市民と野党の共闘を広げに広げ、必ず大激戦を勝ち抜こう
新潟は、市民と野党の共闘で、素晴らしい歴史を刻んでいると思います。

2016年の参院選では、安倍首相は3回も新潟入りした。それをはねかえして、森ゆうこさんの当選を堂々と勝ち取りましたね。（「そうだ」の声、拍手）

昨年の総選挙も、いろんな難しい問題はあったけれど、五つの選挙区で野党候補を一本化して、三つで勝って、地元紙が「安倍1強に風穴を開けた」と書いた。ここでも新潟のたたかいは大きな成果をあげたじゃないですか。（大きな拍手）

市民と野党の共闘を広げに広げ、与党支持者の方々にも広く働きかけて、この大激戦で必ず勝ち抜かせていただくことを重ねてお願いいたします。そして日本共産党もがんばり抜く決意を申し上げて私の訴えとさせていただきます。池田ちかこさんをどうかよろしく願いいたします。（歓声、太鼓の音、大きな拍手）

しんぶん赤旗 2018年6月2日(土)

コメどころ新潟守る 知事選 池田候補駆ける 戸別所得補償充実訴え

新潟県知事選（10日投票）の市民と野党の共闘の池田ちかこ候補は1日、魚沼、南魚沼両市などを駆け巡り、「コメどころ新潟の農業を守ろう」などと訴えました。

六日町駅前では、同日告示（知事選と同日投票）された県議補選の南魚沼市南魚沼郡区の、ひぐち秀敏候補と合流。ひぐち氏は「米どころの農家が安心して暮らせる県政を進めたい」と訴えました。

「私は農業者。先祖代々の棚田を夫と耕しています」と話を切り出した池田氏は、安倍自公政権が今年の稲作から生産調整達成者への直接支払交付金を廃止したことを批判。新潟県が独自に実施している戸別所得補償制度の充実を訴えました。

原発再稼働問題について池田候補は、政府の「エネルギー基本計画案」のもとで東京電力柏崎刈羽原発6、7号機

の再稼働圧力を強めてくるのが目に見えていると指摘。「その圧力を押し返すことができる知事を選ぶ大切な選挙。新潟のことは新潟で決めよう」と訴えると、大きな拍手に包まれました。

森ゆうこ選対幹事長・参院議員は「再稼働推進の安倍官邸言いなり知事

でなく、本物の県民の代表を。官邸に物言う女性知事を」と呼びかけました。

魚沼市では大平悦子元市長（前衆院新潟5区候補）が応援演説。訴えを聞いた60代女性は「再稼働はだめ。事故が起こると命そのもの、仕事が奪われる。自民党に推された候補では信用できない」。コメ農家の女性（66）も「私たちのような小さな農家でもコシヒカリが作り続けられるよう、池田さんをぜひ知事に」と期待を寄せました。

しんぶん赤旗 2018年6月2日(土)

反原発が池田候補応援 新潟知事選

首都圏反原発連合（反原発）は5月31日、新潟知事選（10日投票）で、立憲民主党、国民民主党、日本共産党、自由党、社民党、無所属の会の各党会派の支援を受けている池田ちかこ候補を「支持し、応援します」との声明を発表しました。

声明は、池田候補が明確に「原発ゼロ」を掲げ、原発停止後の新潟の産業・社会政策を検討するための新たな会議を設けるなど「より具体的な脱原発政策を打ち出しています」と指摘。

池田候補が勝利すれば、「柏崎刈羽原発の再稼働の大きな抑止力になるだけでなく、全国各地の原発再稼働阻止への影響を与える」とともに、「森友・加計問題などで国民を裏切り続ける安倍政権を揺さぶることもなる」と述べ、「全国各地から池田候補を応援しましょう」と呼びかけています。

しんぶん赤旗 2018年6月3日(日)

新潟で勝利し、市民と野党の共闘の発展を

日本共産党の志位和夫委員長は2日、新潟県知事選で市民と野党の共闘の池田ちかこ候補の必勝へ5野党・1会派



（写真）知事選と県議補選の勝利を訴える（右から）森参院議員、池田知事候補、ひぐち候補＝1日、新潟県南魚沼市

の党首・代表が初めて勢ぞろいして訴えたこと感想を問われ、「共闘が前進してきた。前回の知事選挙と比べても、今回は5野党と1会派が推薦し、共闘の広がりがつくられてきた。ぜひこの力で勝ち抜きたい」と表明しました。

志位氏は、来年の参院選に向けて「共闘の勢いをつくるのがとても大事だ。まずは新潟知事選で勝ち、野党が共闘すれば勝てるという結果を出したい」とした上で、「11月の沖縄県知事選挙がある。新潟と沖縄の二つの知事選挙で勝てるかどうかが大変だ」と強調。「実際に勝利を一つ一つ積み重ねることによって、来年の参院選にむけた共闘への勢いを与えていきたい」と述べました。

しんぶん赤旗 2018年6月1日(金)

新潟知事選での池田候補必勝に向け、6月2日に党首が“そろい踏み”へ 5野党1会派が懇談会 志位委員長が会見

日本共産党の志位和夫委員長は31日の記者会見で、自身を含む5野党1会派の党首(代表)、書記局長・幹事長らが前日夜行った懇談会について問われ、大激戦・大接戦の新潟県知事選での池田ちかこ候補必勝のため、



(写真) 記者会見する志位和夫委員長=31日、国会内

ともに推薦している5野党1会派の党首が6月2日、そろって応援に駆けつけることを決めたと明らかにしました。

志位氏は、この間の各種選挙で取り組んできた野党共闘でも街頭で党首(代表)がそろい踏みで立つのは今回が初めてだと強調し、「画期的な一歩になる。ぜひ勝ちたい」と述べました。

また、自民党がまとめた参院選挙制度改定案に言及。自党が「合区」で擁立できない県の候補者が比例区で当選できるよう一部拘束名簿式を導入する同案は、「選挙制度まで私物化するという内容だ。結局、自民党の党略的な都合で選挙制度をいじろうというものだ」と批判しました。懇談会では「そのための会期延長などとんでもない。5野党1会派が一致して反対していこうということになった」と報告しました。

しんぶん赤旗 2018年6月1日(金)

知事選の最大争点 “新潟のことは新潟で決める” 池田候補 現状では原発再稼働同意しない 官邸いいなりにならない

東京電力柏崎刈羽原発の再稼働の是非を最大争点に大激戦となっている新潟県知事選(6月10日投票)。市民と野党の共闘候補の池田ちかこ氏は「現状では再稼働には同意

できません」「官邸の言いなりにはなりません」「新潟のことは新潟で決めます」との姿勢を明確にしています。一方、再稼働推進の安倍官邸、自民、公明、業界団体などが支援する相手候補は、“再稼働に慎重”であるかのように装いますが、原発維持の路線は安倍政権と変わらず、「原発ゼロ」は語れません。

相手候補 再稼働推進の安倍政権に直結

池田候補は、(1)東電福島原発事故の原因(2)事故の健康や生活への影響(3)避難計画の実効性—について県が行っている「三つの検証」もなされていない現状では、県民の安全が守られないと指摘。安倍政権による再稼働強行の圧力に対し「新潟県民の声を胸に、圧力をはね返せるかが問われている。原発再稼働“大推進”の安倍政権と自民党の言いなりにはならない」と対決姿勢を鮮明にしました。



(写真) 懸命に訴える池田ちかこ候補=31日、新潟県刈羽村

さらに池田氏は「私たちがめざすのは、原発のない新潟県、日本です」と強調します。原発ゼロの実現へ「再生可能エネルギーで私たちの生活をまかなう」「原発を前提にした地域経済の転換が必要。私が知事になれば、原発に代わる新産業、雇用を検討する会議をただちに立ち上げたい」と訴えます。

「新潟のことは新潟で決める」。こうした姿勢は、原発立地自治体の住民からも共感を呼んでいます。政府計画案を批判

一方、自公が支持する花角英世候補は「三つの検証を進める」「原発に依存しない社会を」などと言いながら、再稼働推進の安倍政権から全面支援を受ける“矛盾”は隠せません。

安倍政権になって、これまで関西、九州、四国各電力の8基の原発が再稼働しました。さらに政府は、東電柏崎刈羽原発を含めた全ての原発の再稼働が前提である「エネルギー基本計画案」を今夏にも決定する方針。同計画案は、福島原発事故後に2%まで低下した原発の電源構成比率(2016年度)を30年度に10倍の20~22%まで高めるとした“再稼働大推進計画”にはほかなりません。また、15%を占める再生可能エネルギーは30年度に22

～24%とする消極姿勢です。

池田候補は、同計画案を「原発ゼロと相いれない」ときっぱり批判。5月23日に新潟県魚沼市を講演で訪れ、池田氏と面会して激励した小泉純一郎元首相も、安倍政権の方針を「でたらめ」と評しました。

花角候補は、再稼働推進の安倍政権の方針には理解を示しており、原発が「当座は必要だろう」との考えを表明(5月27日付「新潟日報」)。本当に県民の願いに応えられるのは誰なのかがはっきりしています。

安全性への疑問も

前回知事選の出口調査でも、再稼働に「反対」の県民多数の意思が示された東電柏崎刈羽原発。世界最大規模の総出力とされる同原発をめぐって、重大事故の不安が高まっています。東電は今年2月、柏崎刈羽原発6、7号機について、重大事故時に原子炉格納容器の圧力を下げるために使う重要施設「フィルターベント」の基礎が液状化の影響を受ける恐れがあると発表。その後、県や柏崎市、刈羽村が共催して開いた説明会(5月19、20両日)で、参加した住民から「安全性に大きな影響のあるのを知っているながら、規制委はなぜ許可したのか」などと、厳しい意見が相次ぎました。また、福島第1原発事故の前に巨大津波を想定し検討を進めていたのに、当時の経営陣が対策を怠っていたことが、東電原発事故公判での関係者の証言で明らかになりました。規制委が認めた東電の原子力事業者としての「適格性」は根底から揺らいでいます。

県民の思い しっかり受け止めてくれる人

「なくそテ原発・柏崎大集会」実行委員長の植木史将(ふみのぶ)さん(42) 池田さんはこれまで一緒に、原発ゼロをめざす集会やデモ行進をやってきた人であり、県民の思いをしっかり受け止めてくれる方だと思います。

相手候補の方は、「検証を進める」と言いますが、原発は当面、必要だといいい、安倍政権と同じ考え方を示していません。自民党などから支持を受け、政府のやることに逆らえないのは明らかです。

また池田さんは、原発立地自治体の声をずっと聞き続けてきました。反対だけでなく、さまざまな意見に耳を傾け、それを受け止めることのできる人です。

原発ゼロを実現する具体的な道筋を示している池田さんに県政を担ってほしい。

新潟知事選 6党首街頭演説

あす2日午前11時 新潟駅万代口

弁士

日本共産党委員長	志位	和夫
立憲民主党代表	枝野	幸男
国民民主党代表	大塚	耕平
無所属の会代表	岡田	克也
自由党代表	小沢	一郎
社民党党首	又市	征治

知事候補 池田 ちかこ

主催・輝くにいがた

しんぶん赤旗 2018年6月3日(日)

原発再稼働 県民は拒否 新潟知事選 市民大宣言「池田さんで」

「ゴーゴーいけちかゴーゴー」—新潟駅南口に市民の大きなコールが湧き起こりました。大激戦となっている新潟県知事選(10日投票)で、「市民と野党の共闘」を盛り上げようと、「市民の思いをつなぐ会」は2日午前、市民大宣言を行い、全国と地元の市民がリレートークしました。参加者は「新潟のことは新潟で決める」のプラカードを掲げました。



(写真)「いけちかコール」が湧き上がる中、訴える池田知事候補=2日、新潟駅南口

池田ちかこ候補は、政府の言う「地方創生」は地方に責任を押し付けるもので、これでは地方の時代は来ないと批判。「政府官邸とのパイプではなく、県民とのパイプを太くしたい。私たち県民こそ、地方をつくっていく主役」と強調。「原発再稼働は新潟県民の意思ではありません。国から圧力を受けて、私たちの意思がねじ曲げられてはいけません」と力を込めて訴えました。

大学生の馬場ゆきのさん(未来のための公共)は、成人式で「女子力を磨け」と書かれたパンフに怒りを覚えたと話し、「女だからきれいにしろとか、女だから男を立てろ、と言われる社会は生きづらい。私は、性別に関係なく一人ひとりが自分らしく生きられる社会にしてくれることを、池田さんに期待する」と話しました。

前日の1日夜には、同じ場所で市民集会が開かれ、全国からの連帯あいさつが行われました。登壇した河合弘之弁護士は「放射能は日本のすべてを壊します。原発を安全にすることはできません。日本から原発を廃止し、なくすことが一番の安全策」と訴えました。

城南信用金庫相談役の吉原毅氏は、再生可能エネルギーの普及は地方の発展にもつながると強調。「新潟県は全国有数の米どころであると同時に、電気を売ってますます豊か

になっていきます」と述べました。法政大学の山口二郎教授は、安倍政権の腐敗を強く批判し、「日本の民主主義、立憲主義を守れるかの瀬戸際です。国民をばかにしている政権に、怒りの声を上げていきましょう」と話しました。

同街宣には、郡和子仙台市長、立教大学の五十嵐暁郎名誉教授、前滋賀県知事の嘉田由紀子氏、沖縄平和運動センターの山城博治議長、講談師の神田香織氏、西宮革新懇の樫村庸一事務室長も駆け付けました。

しんぶん赤旗 2018年6月1日(金)

新潟知事選 県民は再稼働に反対 柏崎・刈羽など 池田氏訴え

大激戦になっている新潟県知事選（10日投票）で、市民と野党の共闘の池田ちかこ候補は3



(写真) 支援者と握手をする池田ちかこ候補
=31日、長岡市中之島

1日、地元の柏崎市や刈羽村、出雲崎町、長岡市を回り、街頭から訴えました。

池田候補は、東京電力柏崎刈羽原発から1キロの距離にある刈羽村のスーパー前で、原発の方向を向いて演説しました。県知事選が全国の注目の的であり、その焦点は、目の前に広がる柏崎刈羽原発の再稼働であると指摘。「県民の3分の2が再稼働に反対だ。私は検証結果が出たら国の横やりにも負けることなく、県民の皆さんとともにしっかり意思を示していく。同時に、原発をなくしてもこの村が生けていける雇用と産業をつくっていく」と力を込めて訴えました。

長岡市中之島でマイクを握った選対本部長の菊田真紀子衆院議員は「相手候補は、本当に脱原発を訴えるなら、原発推進の自民党の応援は断るべきだ」と批判しました。佐藤伸広県議（未来にいがた）も応援に立ちました。

長岡市の大型店前では、無所属の会の岡田克也代表、黒岩宇洋衆院議員が応援に駆け付けました。岡田氏は「三つの検証」結果が出た時、官邸を村度（そんたく）する官僚候補でなく、池田候補勝利で「新潟のことは新潟で決める」県政にと訴えました。

しんぶん赤旗 2018年5月31日(木)

新潟知事選 党派を超えて市民が奮闘 押し上げへ各地で

「再稼働推進の安倍政権のいいなりにならない」「新潟のことは新潟で決めます！」一。大激戦となっている新潟県知事選（6月10日投票）で、市民と野党の共闘候補・池田ちかこ候補をなんとか押し上げようと、同候補の新潟、長岡、上越の三つの事務所では連日、市民が集まり、党派を超えてみんなで一緒に電話作戦などに立ち上がっています。

新潟事務所では28日、無党派や連合系組合の人などが肩を並べ、「共闘でこそ政治は変えられる」と、電話での支持拡大に取り組んでいました。「野党共闘を継続させていきたい。立候補してくれた池田さんに感謝しています」と語るのは、無党派市民の女性（63）。「毎日事務所に来ようと思っています。新潟で勝って、安倍政権を退陣させたい」と意気込みます。

同じく女性（42）＝飲食業＝は、「野党共闘で、自分が投票した人が全員当選してきた」と喜びを語り、今回の知事選で「しゃべるのは得意ではないけれど、自分の周りにいる人だけでなく、もっと広がっていかないといけない」と次々に対話を重ねています。原発に加え農業、食の安全にも強い関心をもつ百都さん。国の種子法廃止に伴い、前県政でつくった種子の安定供給を図るための条例の継続を願います。

◇

長岡で

長岡事務所では、社民党関係の女性（57）が「28日朝、友人から



(写真) 池田候補への支持を訴え、電話で対話を重ねる人たち=28日、新潟県長岡市

からの電話を受けたところ、公明党の運動員が友人宅を訪ね、自民・公明が支援する相手候補への支持を訴えていったとのことでした」と話します。相手候補も「原発反対だから」という運動員の訴えに戸惑ったという友人に、「反対なんて言っているけど、相手候補のバックには自民党の二階俊博幹事長がついているのよ」と強調し、安倍自公政権が30年先まで原発依存を続け、再稼働を推し進める方針であることを伝えました。

同日に約3時間、対話・支持拡大に取り組んだ女性も、相手候補が原発再稼働に慎重な姿勢を装い、原発が争点にならないよう狙っているだけに「もっとアピールしなければ」と語ります。

◇

上越で
上越事務所には、訪れた人の似顔絵がずらりと飾られています。元高校



(写真) 池田候補勝利へピラ折りをする上越事務所の市民ら＝30日、新潟県上越市

社会科教師で画家の男性(82)は「80すぎだから走り回っての選挙活動はできないけれど、自分にできることを」と、来訪者の似顔絵を描いています。「絵を飾ることで事務所をにぎやかにしたい」と意気込みます。

ママの会メンバーなど女性たちの姿が目立ちます。上越市の関美佐子さんは「再稼働をストップさせる女性知事を」と電話かけに懸命。「再稼働いやですもんね」「期日前投票に行ってきます」と返事が返ってきます。渡辺寿子さんは、対話では「原発は絶対いやだという市民が多い」と言います。

30日、みんなの力でおしあげようと、ピラ折りに頑張る女性たちの姿がありました。

しんぶん赤旗 2018年6月2日(土)

新潟知事選 自公もっぱら締め付け作戦 「原発」「自民」「森友・加計」隠し

大激戦の新潟県知事選(10日投票)で、自民、公明両党と安倍政権が与党候補支援に力を入れています。

現地入りを指示

自公両党が支持する花角英世候補は、二階俊博幹事長が運輸相だった当時の秘書官で、二階氏が擁立に動いたとされます。二階グループ所属議員には花角候補支援の要請が出され、「現地に車の準備をさせるなど負担をかけるな」との注意付きで現地入りの指示が出ているといいます。自民党としても塩谷立選対委員長が現地支援の要請を出し、秘書レベルにも新潟の知人の名簿を出すよう指示が出ています。

自民党関係者の一人は、安倍政権が森友・加計疑惑で窮地に陥るもとの、来年の統一地方選と参院選を見据え「安倍首相でたたかえるのかが問われる」とし、「その結果は、9月の総裁選に直結する。野党系前知事が辞任した選挙で負ければ、政権の不祥事の責任と言われる」と言います。また、「沖縄もそうだが、大きな政策課題を抱える地域だけに、自民党としても安倍政権としても負けられない」と語気を強めます。大きな政策課題とは原発再稼働問題です。

公明党は当初は「自主投票」と言われましたが、告示後

に一転、花角氏への「支持」を表明。自民党関係者によると、党幹部や国会議員が次々と現地入りし、公明党・創価学会の引き締め躍起です。花角氏が次長を務めていた海上保安庁は国土交通省の管轄。国土交通相はこの間、公明党の北側一雄副代表や冬柴鉄三氏(故人)、太田昭宏元代表らが務めており、現国交相は石井啓一衆院議員です。

来年の選挙意識

自民党関係者は、公明党の動きについて「来年の一連の選挙を意識してのことだが、一生懸命やってくれている」と期待を示します。公明党は昨年総選挙での6人落選・比例で700万票割れに痛撃を受けており、来年の選挙での挽回を狙い、自民との選挙協力の再構築のため、中間選挙での勝利に執念を燃やしています。

新潟の現地では、自民党や公明党の議員は街頭などに姿を見せず、もっぱら業者や関係者の締め付けに走る「ステルス(姿を見せない)作戦」に終始。現地の自民県議すら、花角候補の支援の演説で「自民党としてではなく一県議として支援する県民党」と語るなど、なりふり構わぬ原発隠し、自民隠し、森友・加計隠しで、建設や農協などの業界締め付けに力を入れています。

元知事の泉田裕彦衆院議員は街頭で花角氏支持を訴えますが、もともと原発再稼働に「反対」していた泉田氏が昨年の総選挙で自民党から国政進出したことへの不信も強く、同氏が二階グループ入りしたことから「二階派主導の選挙」となっていると、地元自民党関係者からも反発の声が上がっています。

(中祖寅一)

産経新聞 2018.6.3 17:59

沖縄知事選「翁長雄志氏、再選にチャレンジする」 共産・志位和夫委員長



共産党の志位和夫委員長(酒巻俊介撮影)

共産党の志位和夫委員長は3日、12月に任期満了を迎える沖縄県知事選について「当然、翁長雄志知事が再選にチャレンジすると考えている」と語った。同県宜野湾市内で記者団の質問に答えた。これに先立つ集会では「翁長知事の再選を必ず勝ち取るために頑張り抜こう」と訴えた。

志位氏はまた、記者団に対し、翁長氏を支持する共産党や社民党、労組、企業などでつくる「オール沖縄」について「結束は強い」と強調。知事選に向けた立憲民主党との連携には「協力可能だ」と述べた。

一方、麻生太郎財務相が学校法人「森友学園」への国有地売却に関する決裁文書改竄問題の組織的な関与を否定したことに関しては「組織ぐるみそのものだ。全く反省のない発言だ」と批判した。その上で、麻生氏と安倍晋三首相の辞任を改めて求めた。

しんぶん赤旗 2018年6月2日(土)

ゆきづまる辺野古新基地建設 県と未協議 希少サンゴ超軟弱地盤 護岸つなげても矛盾山積

沖縄県名護市辺野古の米軍新基地建設をめぐり、安倍政権は沖縄県から岩礁破碎許可を得ないままの違法な埋め立て工事を続けています。一部工区を護岸で囲い込もうとして、土砂投入の危険も迫っています。しかし、多くの矛盾を抱えており、容易には進みません。

(竹下岳)

安倍政権は連日、米軍キャンプ・シュワブゲート前での住民の



(写真) 工事用資材搬入に抗議する人たちは1日、沖縄県名護市辺野古

抗議を排除して石材を投入し、護岸工事を強行しています。

工事の現状に詳しい平和市民連絡会の北上田毅氏によれば、現在、辺野古漁港側での護岸工事は1日約10メートルのペースで進んでおり、単純計算すれば、7月上旬にも第2工区の外周がつながります。

埋め立て土砂約2100万立方メートルの8割は県外から調達されますが、防衛省は第2工区のうち、西側で使用する土砂319万立方メートルについては、県内での調達を想定。土砂投入の強行へ動きを強めています。

しかし、7月中の土砂投入は容易ではありません。まず、護岸工事の現状はあくまで基礎工事の段階であり、上部工・本体工を含めて完成された護岸は一つもないことは、施工主である沖縄防衛局も事実上認めています。

また、埋め立て工事に関する実施設計の事前協議を沖縄県と行う必要がありますが、現時点で事前協議書は提出されていません。こうした下で土砂投入を強行すれば、違法に違法を重ねる暴挙です。

さらに、深刻な矛盾は希少サンゴの存在です。第2工区

には絶滅危惧種のオキナワハマサンゴが存在しています。防衛局は昨年10月、移植のための特別採捕申請を提出しましたが、県は不許可としました。今年3月に再申請しましたが、結論は出ていません。

このまま護岸工事を続ければ水温が上昇し、サンゴの生息環境が悪化します。防衛局は5月28日の環境監視等委員会で、遮光ネットなどを設置し、埋め立て区域外からポンプで海水を導入することで、サンゴを残したまま工事を継続する方針を示しました。

こうした手法は過去に前例がなく、専門家からは懸念の声が相次いでいます。さらに、仮に護岸の中でサンゴが生存したとしても、土砂投入すれば死滅は不可避です。北上田氏は、「現状では土砂の投入はできないし、許されない」と指摘します。

「マヨネーズ地層」改良には県の承認

防衛局が県に提出した辺野古埋め立て承認願書では、大浦湾側の第1工区での工事を先行させる計画でしたが、現状では大浦湾側の工事は止まっています。

その理由として、新基地反対の稲嶺前名護市政により、埋め立て区域に流れ込む美謝川の水路切り替えが行われていないことに加え、今年3月、防衛省が日本共産党の赤嶺政賢衆院議員に提出した地質調査報告書で、護岸工事予定地の海底に地盤強度を示すN値が0(ゼロ)を示す地点が複数存在することが判明しました。N値が高ければ高いほど強度が強く、大型の構造物の場合、50以上が望ましいとされています。

深刻なのが、ケーソンと呼ばれる大型のコンクリートの箱を用いる護岸の建設予定地付近です。中には、谷のような地形で深さ40メートルまでN値ゼロが続いている箇所もあります(地図)。「ヘドロ地盤の『羽田マヨネーズ地層』並み」(日本大学・鎌尾彰司准教授)との指摘もあります。

このため、大規模な地盤改良は避けられず、沖縄県に辺野古埋め立て工事の設計変更を申請する必要があります。

防衛省はこれまで、新基地阻止を掲げる翁長雄志知事の権限を行使させないため、設計変更申請から逃げてきました。しかし、「軟弱地盤の改良工事なら変更申請が必要だ」との見解を示しています。(17年4月18日、衆院安保委員会で高橋憲一整備計画局長)

工事遅れ政府焦り 安倍政権追いつめ

安倍政権は県民の民意を無視し、法治主義・地方自治を破壊して新基地建設を強行しています。しかし、全体の流れを見れば、追い詰められているのは政府の方であることが分かります。

埋め立て本体工事の着工が15年10月で、現在2年7カ月が経過しています。埋め立て承認願書によれば、工期は5年で、2年7カ月目の時点で護岸19本(仮設工を含む)中17本が完成し、土砂投入は3工区のうち1、2工区で完了する計画でした。しかし、現状では完成された護

岸ゼロ、土砂は1粒も投入されていません。

沖縄県は今年3月、ワシントンで開催されたシンポジウムで配布した資料で、工事遅れの主な要因として、(1)県民の抗議活動による遅れ(日常的な抗議活動など)(2)知事の権限行使による遅れ(訴訟結果としての和解による10カ月の工事停止など)を挙げました。

県民の7～8割という辺野古新基地反対の圧倒的な民意を背景とした不屈のたたかいと、その結果として成立した翁長県政が本格的な埋め立て工事を食い止めてきたのが現状です。これから、翁長知事による埋め立て承認撤回や今年11月の県知事選、県民投票など、新基地をめぐるたたかいは大きな正念場を迎えます。

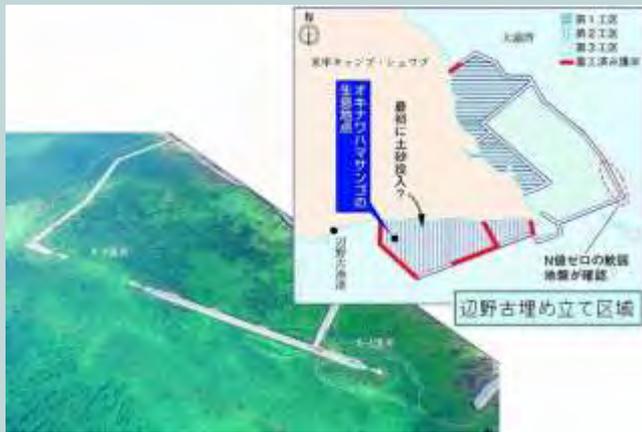
あす午後1時半から「沖縄連帯のつどい」

日時 3日午後1時半～午後4時半

会場 沖縄コンベンションセンター(宜野湾市)

主催 全国革新懇・沖縄革新懇

共催 安保破棄中央実行委員会・沖縄県統一連



(写真) 護岸工事の状況(沖縄防衛局の5月28日付資料から)

会見を開き、米軍新基地建設(同県名護市辺野古)のための埋め立ての賛否を問う「県民投票条例制定署名運動」に、全面的に協力することを表明しました。県民の大同団結、新基地建設反対、11月の県知事選勝利のために全力で取り組んでいく立場を、改めて示しました。

市民や有識者などで作る「『辺野古』県民投票の会」は、5月23日から同条例制定を求める署名を開始し、県の有権者の10分の1の署名を目標にしています。条例制定の直接請求には開始後2カ月以内に、最低でも有権者の50分の1(約2万4千人)の署名が必要です。

鶴淵賢次県委員長代理、渡久地修県議団長らは記者会見で、今後は受任者になっての署名集め、街頭宣伝など「会の要請に応じて、できることは全て行っていく」としました。

党沖縄県委は同県民投票運動について、県民やオール沖縄の中に意見の違いがあることを踏まえ、これまで「市民運動として尊重し、協力は党員の自主判断」とする立場でした。

鶴淵氏は、現在の県民投票運動が、新基地建設のための埋め立て承認の知事による撤回時期と県民投票の実施時期を拘束するものではないと、会が明確にしていると指摘。懸念が払拭(ふっしょく)され、「条件が大きく変化した」と述べました。

鶴淵氏は、県知事選勝利に向けて署名運動の成功も重要であると強調。▽辺野古や各地での基地建設反対・抗議活動▽知事の撤回を支える世論と運動▽県民投票条例制定を目指す署名運動の、「それぞれが共に前進し、県民運動として大きく合流し、発展することは翁長県知事再選の条件を広げることになる」と述べました。

しんぶん赤旗 2018年6月1日(金)

新基地問う 県民投票運動に協力 党沖縄県委会見 知事選勝利へ全力

日本共産党沖縄県委員会・県議団は31日、県議会内で記者



(写真) 記者会見する鶴淵県委員長代理(中央)、渡久地県議団長(左)ら=31日、沖縄県議会